

ホザキイチヨウラン

Malaxis monophyllos (L.) Sw.
ラン科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地が一部地域に限られており、個体数は少ない。

分 布

国内では北海道、本州（東北～近畿地方）、四国に分布。県内では嶺北の山地草原に生育している。

種の特徴

山地の林内や草原に生える。偽球茎は卵形。葉は広卵形で1個、長さ4～8cm。花茎は高さ約10～30cm。茎頂に多数の小花を穂状につける。花は緑色で径2～3mm。

生育を脅かす要因

登山道整備等や雪崩の発生による生育環境の悪化。

参考文献 畔上能力ほか（2013）、前川文夫（1971）、大橋広好ほか（2015）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																	○

フウラン

Neofinetia falcata (Thunb.) Hu
ラン科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

生育地が一部の地域に限られており、高木の幹に着生していることが多い。

分 布

国内では関東地方南部～琉球に分布。県内では、嶺南の一部の地域に分布している。

種の特徴

暖温帯～亜熱帯に分布し、樹幹や岩石上に着生。基部に太い気根を出す。茎は短く、葉は長さ5～10cm、分厚く革質、断面がくぼみ、背面には鋭い稜がある。花色は純白で、唇弁は長さ7～8mmで、中部付近で3裂、側裂片は小さく、中裂片は狭卵形。距は前方に湾曲。

生育を脅かす要因

基物の伐採、樹木、園芸目的の採取等。

参考文献 遊川知久ほか（2015）、林弥栄・平野隆久（2013）、福井県植物研究会（2001）、前川文夫（1971）、大橋広好ほか（2015）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○	○	○	○			○									

ヨウラクラン

Oberonia japonica (Maxim.) Makino
ラン科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内では生育地、個体数が極めて少ない。

分 布

国内分布は本州（宮城県以南）～九州、琉球。県内分布はおおい町。

種の特徴

暖温帯に分布し、樹幹や岩上に着生する。茎は束生し下垂、長さ1～4cm、葉は袴状で肉質、2列に並び長さ1～3cm、幅2～5mm。花茎は茎頂より2～8cmに伸び、密に淡黄色の小花をつける。萼片は広卵形で0.5mm、側弁は倒卵形、先は3裂、中裂片はさらに3裂。

生育を脅かす要因

産地に限られていることによる。基物樹木の伐採。

参考文献 福井県植物研究会（2001）、前川文夫（1971）、大橋広好ほか（2015）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○															